

退院支援研修会（基礎）

日時：7月29日（月）17時30分～18時30分

場所：講堂

内容：講義・事例検討

目的：看護を取り巻く社会環境の変化を知り、
入退院支援の基礎知識を学ぶ

目標 ① 医療を取り巻く社会情勢、県圏域の状況が理解できる
② 看護師ができる入退院支援・看護介入が理解できる

講師・アドバイザー：地域連携室 斎藤看護師

引き続きオンデマンド視聴を行います（希望者の方のみ）

※視聴時間 18:30～19:10

地域へとつながる看看連携の実際

～看護小規模多機能型居宅介護事業所、訪問看護ステーションなど～

講師：坂井 志麻 先生

所属：杏林大学 保健学部 看護学科 高齢者看護学 教授

サマリー：住み慣れた地域での生活を継続するために病院・地域の看護職が、互いの役割を理解して、患者の意向や疾患と暮らしを支える情報を共有することが重要である。

本講義では看護小規模多機能型居宅介護施設や訪問看護ステーションとの看看連携を例にして、必要な情報共有や連携の要素について解説する。また、入退院プロセスでの連携にかかわる診療報酬や退院時カンファレンスのすすめ方についてポイントを提示し、看看連携のネットワークづくり構築に向けたプロセスやポイントについて解説していく。

担当：現任教育委員会